

基本計画					予算科目				実施計画整理番号	
基本政策	テーマ	施策	展開	事業名	款	項	目	事	事業名	総合戦略整理番号
4	3	2	2	田んぼダム促進事業	5	1	5	5	田んぼダム促進事業	

事務事業の概要									
事業目標【だれ・何】を【どういう状態】にするか					活動内容【目標を達成するため何を行うか】				
田んぼダムの促進により浸水被害を軽減する					田んぼダムの取り組みに必要な柵等の資材支給を行う				
活動指標		地元組織等へ田んぼダム用の柵を支給			成果指標		田んぼダム実施面積		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯	<input type="checkbox"/> 団体(民間)	<input type="checkbox"/> 団体(公共)	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
内容	① 農業者			②		③ 受益者			
形態	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 負担金・交付金	<input type="checkbox"/> その他 ()				
内容	①			②		③			
態様	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 任意	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	法令 計画等 名称			
	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 義務				① ② ③			

事務事業を構成する個別取組				
No.	内容	実施年度		
		R3	R4	R5
①	田んぼダム促進事業	○	○	○
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				

個別取組に係る費用で積算の基礎となるもの及びその数値					
No.	内 容	数 値	No.	内 容	数 値
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度	
		要求額	計画額	要求額	計画額	要求額	計画額
事業費	千円	6,000		6,000		6,000	
財源内訳	国補助	千円					
	県補助	千円					
	市債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	6,000	0	6,000	0	6,000

特定財源の名称と補助率等	
--------------	--

No.	個別取組の内容	R3 事業費	費用の節別内訳			説明及び積算等の基礎
			節	金額	内容	
①	田んぼダム促進 事業	6,000	15	6,000	田んぼダム用柵材料支給	
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
事業費計		6,000				

No.	個別取組の内容	R4 事業費	費用の節別内訳		説明及び積算等の基礎
			節	金額	
①	田んぼダム促進事業	6,000	15	6,000	田んぼダム用柵材料支給
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		6,000			

No.	個別取組の内容	R5 事業費	費用の節別内訳		説明及び積算等の基礎
			節	金額	
①	田んぼダム促進事業	6,000	15	6,000	田んぼダム用柵材料支給
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		6,000			

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	田んぼダムの促進により浸水被害を軽減するためには地域一体となった治水対策が必要であり、自治体が関与すべき事業である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	田んぼダムの促進により雨水流出抑制を図り、市内の浸水被害軽減に有効であるが、柵の設置や維持管理について農業者の協力が必要である。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	千葉県については、河川の拡幅や堤防の嵩上げ、堆積土の撤去、調節池の整備等の治水対策を実施しているが、改修に期間を要するため、水田を活用した田んぼダムの治水対策は効率的であり、設置費用は農業者の負担で考えている。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	近年、異常気象による集中豪雨等の発生により全国各地で大規模災害が発生しており、今後の災害に備え早急を実施する必要がある。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	一宮川流域浸水対策協議会の一宮川流域の自治会役員から田んぼダムについて積極的な推進を図り、上流域にも田んぼダムの推進を促してほしい旨の要望がある。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
全国的に田んぼダムを活用した治水対策に取り組んでおり、栃木県小山市(思川西部土地改良区)や栃木県宇都宮市(うつのみや中央土地改良区)などの自治体で取り組んでいる。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
		A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 掲載 B. 一部掲載 C. 掲載しない	浸水被害の軽減と、治水対策に関する意識向上に資する事業であると認められることから、担当課の提案通り掲載するものとする。
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	3か年実施計画に掲載するものとする。	